

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 034	提案機関名 神奈川県 湘南家畜保健衛生所
要望問題名	未利用資源の飼料化に係る指標の作成について
要望問題の内容	【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ・近年、飼料価格の高止まりもあって、配合飼料等に代わる未利用資源の活用が再認識されている。しかし、未利用資源の利用については、利用する未利用資源毎に給与後の畜産物の生産量に与える影響については、不明な点が多い。 ・については、未利用資源の品目毎に給与試験をもって畜産物の生産量への影響を検討し、代替し得る給与量を推定したデータ等を生産者へ提供することで、これからの未利用資源の一層の活用が推進され、低コスト化への対応が可能になると考えられる。
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	①、②、④の場合 地域資源の肉用牛への飼料化技術の確立 試験研究成績書(平成28年度) 地域資源を活用した豚肉の生産方法の検討 試験研究成績書(平成19年度～29年度) 地域資源を活用した鶏卵・鶏肉の生産方法の検討 試験研究成績書(平成28年度～令和2年度) 肥育牛からの温室効果ガスの発生を低減する飼養管理技術の開発(令和5年度～8年度) 新規未利用資源を活用した採卵鶏の飼料給与方法の確立(令和5年度～6年度)		
対応の内容等	<p>畜産技術センターでは、令和5年度より、飼料費と温室効果ガスの発生を低減するために、エコフィードを活用した肥育牛の飼養管理技術について試験を行っています。また、採卵鶏については利用可能な未利用資源を検索し、生産性が維持できる適正給与水準を明らかにする試験を実施しており、令和5年度は複数の資材を選定し、生産性及び卵質への影響を調査しています。この他の新たな未利用資源については、県と関係団体等で構成するエコフィードネットワーク分科会と連携して成分分析や嗜好性調査を行い、必要に応じ給与試験等を実施していきます。</p> <p>未利用資源の飼料化に関する情報は、中央畜産会のホームページで、全国のエコフィードの取組事例や試験研究機関等で実施された飼料化試験の情報（成分や給与効果等）が公表されていますのでご利用ください。</p>		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考	中央畜産会「エコフィード情報のページ」： http://ecofeed.lin.gr.jp/		